

# 令和7年度事業計画

## 1 事業・運営の方針

本県水産業を振興していくため、県の協力を得るなか栽培漁業関連業務を確実かつ効率的に実施する。さらに、水産業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、新たに漁業の担い手確保・育成対策に取り組むなど水産業経営安定対策の業務を強化する。

### (1) 業務関係

#### ◆ 栽培漁業関連業務

水産資源の維持増大を図るため、県「栽培漁業基本計画」に基づきアワビ、マダイ、クルマエビの種苗生産・放流事業を着実・効率的に実施する。特に施設の老朽化や海水温の上昇等により生産に制約を受けているアワビ種苗に関しては、計画数量の生産達成に向けて、出来る限りの対策を講じていく。

なお、ヒラメ、マコガレイ種苗は県の施設整備に伴い、業務を休止とする。

また、漁場環境の変化等により厳しさを増す東京湾漁業対策については、高品質なノリ種苗の安定生産に努めるほか、環境調査やミルクイの種苗生産試験に取り組むほか、新たな水産動植物を対象に飼育試験を行う。

#### ◆ 水産業の経営安定対策業務

効率的かつ安定的な漁業経営体を育成するため、経営計画や改革計画に基づく漁業経営改善の取組を指導・支援するとともに、指導対象漁協への改善指導や漁協職員の育成等の取組を支援する。

また、本年度から新たに漁業の担い手の確保・育成業務を県及び水産関係団体と連携して取り組んでいく。

### (2) 組織運営体制

#### ◆ 組織の再編

担い手対策を含め漁業経営対策を強化するため、本部の事業課を栽培事業課と漁業経営課に改編し、管理課と併せて3課体制とする。

また、アワビ種苗生産を強化するため、高度な専門知識・豊富な経験を有する者を配置するとともに、昨年度に引き続き、業務状況に応じて、他事業所の飼育職員による応援体制をとる。

#### ◆ 職員関係

人材確保を図る観点から、飼育職員（年度雇用職員）の給与体系を見直し、月給制を導入する。また、水産系高校に対して公社への就業を促す働きかけを強化していく。

## 2 事業内容

栽培漁業の推進、水産業の経営の安定に資する次の事業に取り組む。栽培漁業関連業務のうち（１）（２）（３）及び（５）に記載のアワビ、マダイ、クルマエビの各種苗の生産・育成尾数については、県の「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」における令和７年度実施計画との整合を図り、当公社の生産計画数量を定める。

なお、県が実施する水産総合研究センター再編整備に伴う施設改修工事の状況により業務内容が変わる場合は、必要に応じて、理事会の承認を得ることとする。

### 【栽培漁業関連業務】

#### （１）アワビ種苗生産育成事業（受託事業）

県から委託を受け、白浜事業所及び同事業所千倉支所においてアワビ 種苗を生産育成し、関係漁業協同組合に配付する。

生産・配付個数	80万個（殻長25mm）＋「可能な限りの増産を目指す」
---------	-----------------------------

#### （２）マダイ種苗中間育成事業（補助事業）

放流効果を高めるため、県が生産したマダイ種苗を大きく育てる中間育成を、地域栽培漁業推進協議会への委託等により養殖場や漁港内に設置した生簀等で実施し、関係漁業協同組合と協力して放流する。

育成尾数	受入尾数 135万尾（全長30mm）
	⇒ 放流尾数 100万尾（全長60mm）

#### （３）種苗生産飼育事業（受託事業）

県から委託を受け、水産総合研究センター種苗生産研究所（勝浦生産開発室）及び内水面水産研究所において種苗生産飼育業務等を実施する。

○種苗生産研究所（勝浦生産開発室）：マダイ・アユ
○内水面水産研究所：アユ（親魚及び中間育成）・ホンモロコ（親魚養成及び種卵の生産）

#### （４）ノリ養殖振興対策事業

① ノリ種苗生産配付事業（補助・助成事業）

富津事業所において、良質なノリ養殖種苗及び青混ぜノリの製造に用いるア  
オノリ母藻を生産し、関係漁業協同組合等に配付する。

※近年の夏期の気温上昇の対策を講じるとともに、生産者のニーズに沿って、

地域に適合した公社の独自品種や、県が開発した「ちばの輝き」及び  
「CTBFL-P241」の種苗生産を行う。

生産・配付数量	ノリ カキ殻糸状体（完製品）	104,000枚
	カキ殻糸状体（準完製品・半製品）	受注生産
	フリー糸状体	受注生産
	アオノリ母藻	5kg

② ノリ養殖情報提供事業（助成事業）

ノリ養殖の管理に必要な潮位情報等の解析・提供を関係機関と連携して実施する。

③ 健全種網作製推進事業（助成事業）

技術指導・調査等の実施により、関係漁業協同組合に組織されている「健全種  
網作製推進協議会」の活動を通じて、健全種網の作製を推進する。

④ 養殖種苗緊急確保事業（助成事業）

災害・事故等により種網等に被害を受けたノリ養殖業者に対し、あらかじめ  
登録確保した種網を速やかに供給する体制を維持運用する。

⑤ 藻類種苗生産配付事業

富津事業所においてワカメ、ヒロメ等の種苗を生産し、関係漁業協同組合及び高等学校に配付する。

生産・配付数量	ワカメ・ヒロメ種苗（種糸）	3, 0 0 0 m
	その他藻類	要望に応じて生産

（５）クルマエビ種苗生産配付事業（補助事業）

富津事業所新富支所においてクルマエビ種苗を生産し、東京湾地域栽培漁業推進協議会に配付する。

生産・配付尾数	6 0 0 万尾（体長 3 0 m m）
---------	----------------------

（６）調査・普及事業

① 下水処理場等放流水影響調査事業（受託事業）

君津富津広域下水道組合から委託を受け、下水処理場放流水が漁場に及ぼす影響等について調査を実施する。

② ミルクイ種苗生産試験事業（受託事業）

富津漁業協同組合から委託を受け、ミルクイの種苗生産試験を実施する。

③ ナミガイ種苗生産試験事業（受託事業）

千葉県漁業協同組合連合会から委託を受け、ナミガイの種苗生産試験を実施する。

④その他の取組（海洋環境に対応した拡充事業）

新たな水産動植物（カキやナマコなど）を対象に、条件整理や飼育試験等に取り組む。

また、磯焼けした藻場の回復に対応できるようアラメやカジメ等の大型藻類の種苗生産技術の習得に取り組む。

また、小中学校等と連携して種苗等の体験放流を実施するとともに、ホームページを活用した情報発信等を通じて公社の取組を広く周知する。

#### 【水産業の経営安定対策業務】

##### （７）漁船漁業経営改善指導事業（補助事業）

効率的かつ安定的な漁業経営体を育成するため、千葉県地域漁船漁業改革推進集中プロジェクトや中小漁業経営支援協議会を運営し、経営の改善に取り組む漁業者を支援する。

また、経営不振に陥っている漁船漁業経営体に対し、県や水産団体と連携・一体となり、対策の検討を進める。

##### （８）水産業経営安定促進事業

###### ① 漁協経営安定化対策事業

組織・事業の再編等に取り組む漁業協同組合に対して東日本信用漁業 協同組合連合会が行う融資にかかる利子の一部を助成するとともに、漁業協同組合等が行う人材育成・確保の取組等に対して助成を行う。

###### ② 漁業経営安定化対策事業

漁業生産活動に必要な漁船、漁具等のリース事業に取り組む事業体に対する管理

費への助成を行う。

### ③ 特別振興事業

水産業協同組合又は水産関係団体が実施する事業で、水産業の経営の安定に資すると認められる事業に対し助成する。

### (9) 担い手確保・育成事業

漁業の担い手を確保するため、県が設置する担い手確保・育成に係る協議会の運営を行うとともに、就業相談から独立するまでの支援を行う就業支援窓口の運営や、漁業研修事業等の新規漁業就業者確保・育成に係る事業を実施する。